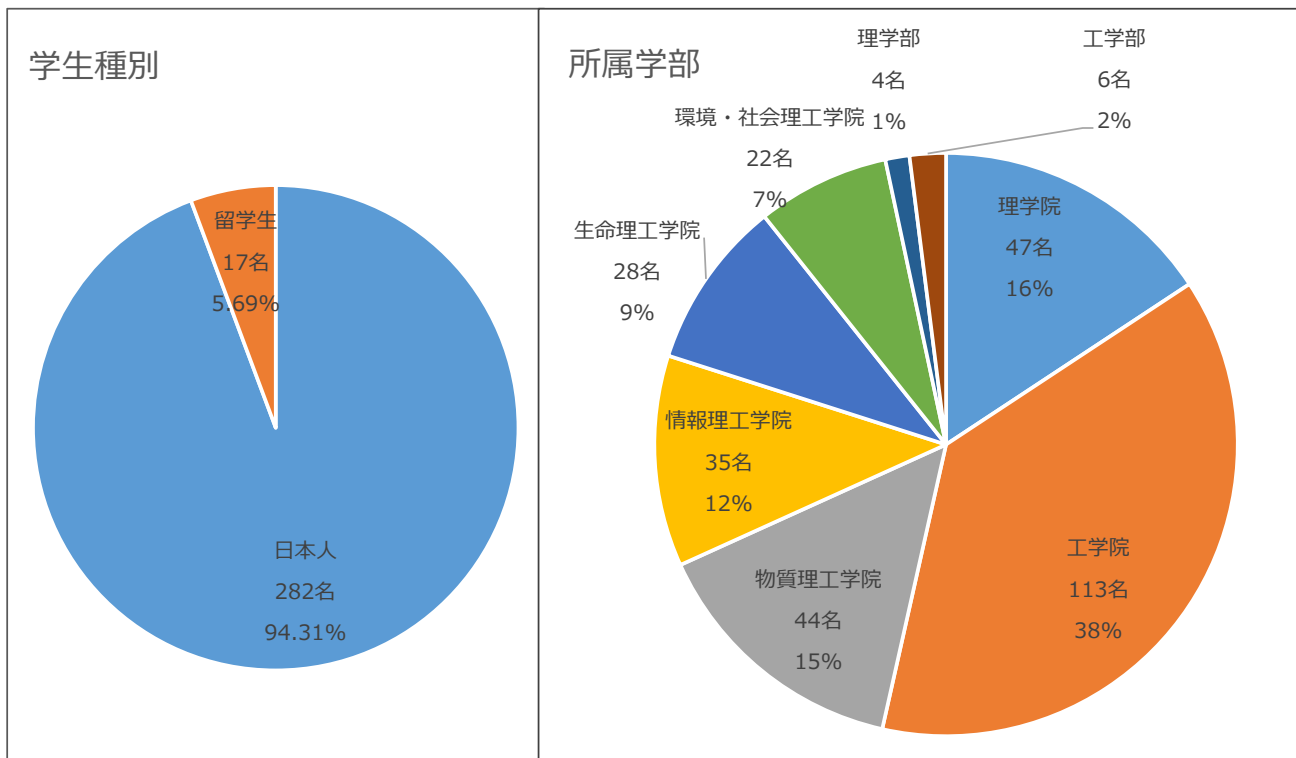


令和2年度 教育改善に関するアンケート〈学士課程〉

基本統計量

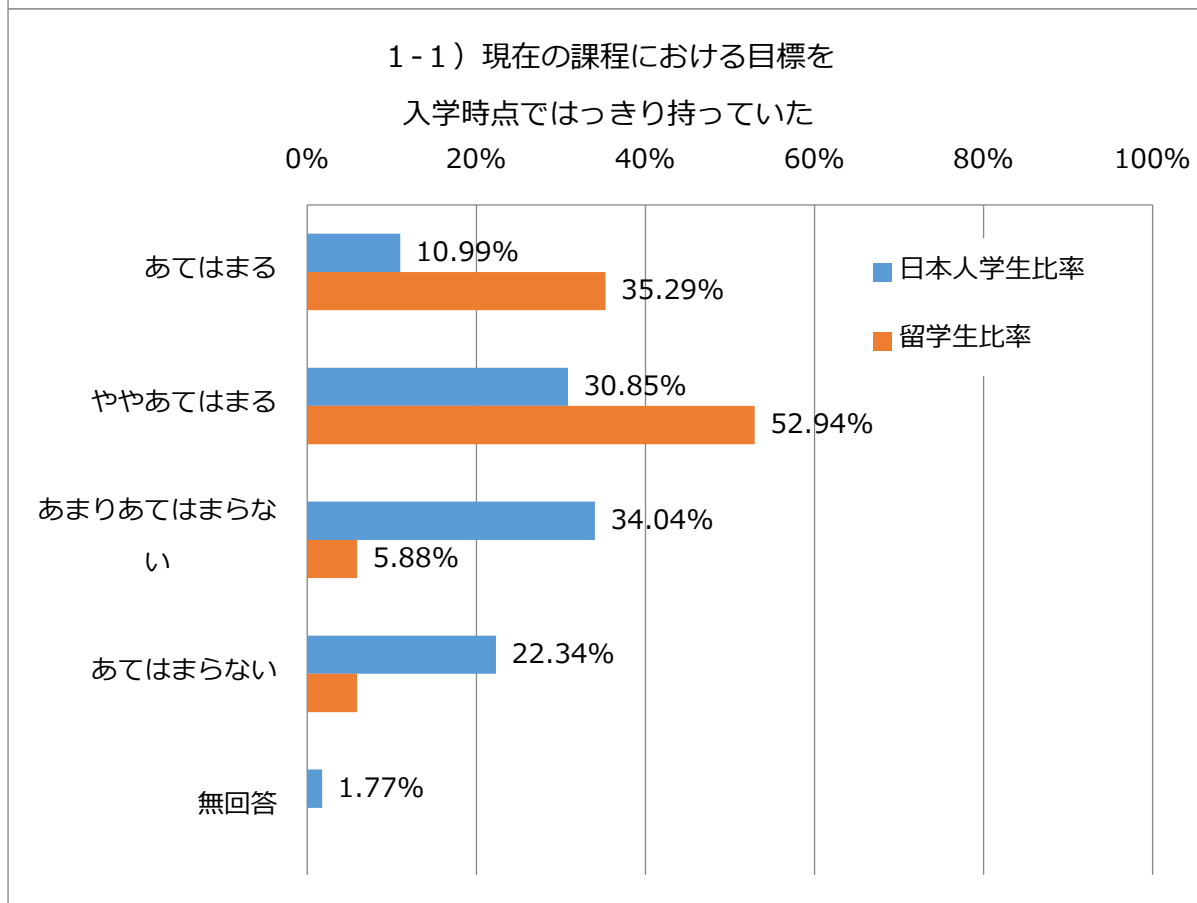
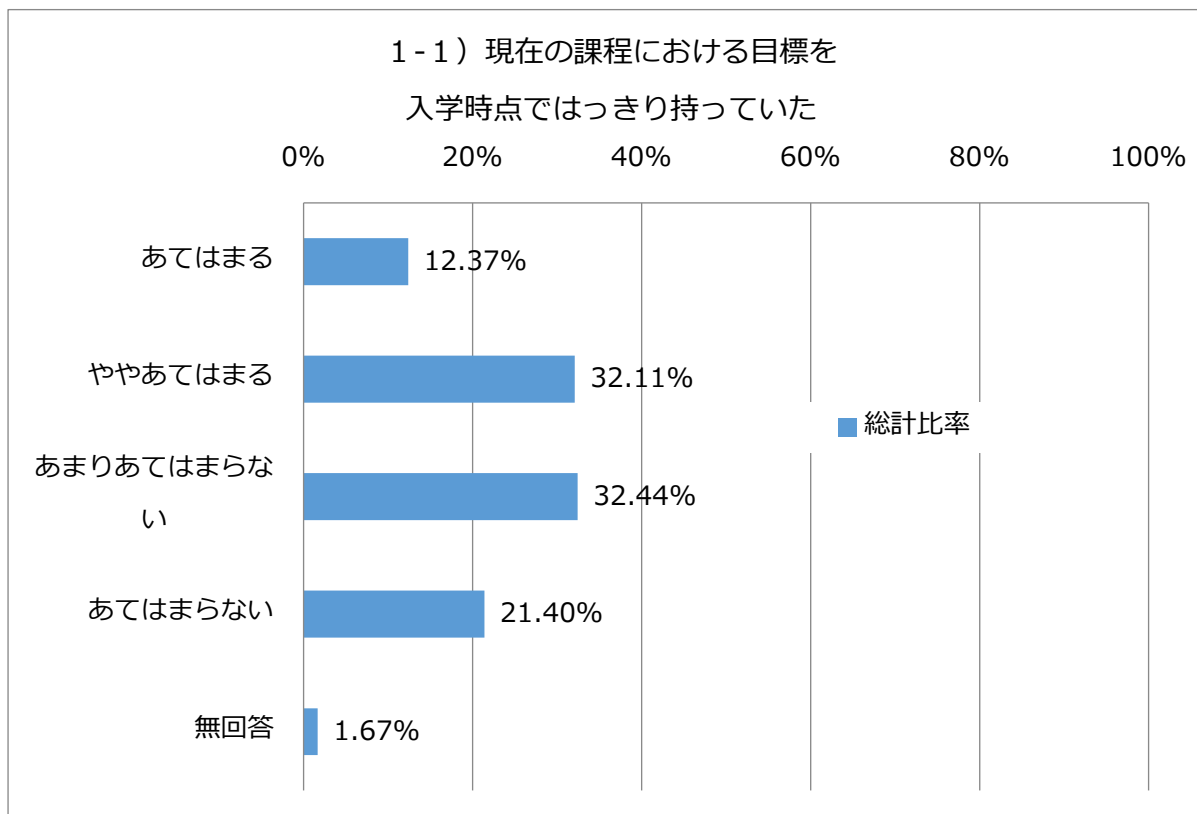


学生種別	人数	割合
日本人	282	94.31%
留学生	17	5.69%
総計	299	100.00%

部局	人数	割合
理学院	47	15.72%
工学院	113	37.79%
物質理工学院	44	14.72%
情報理工学院	35	11.71%
生命理工学院	28	9.36%
環境・社会理工学院	22	7.36%
理学部	4	1.34%
工学部	6	2.01%
総計	299	100.00%

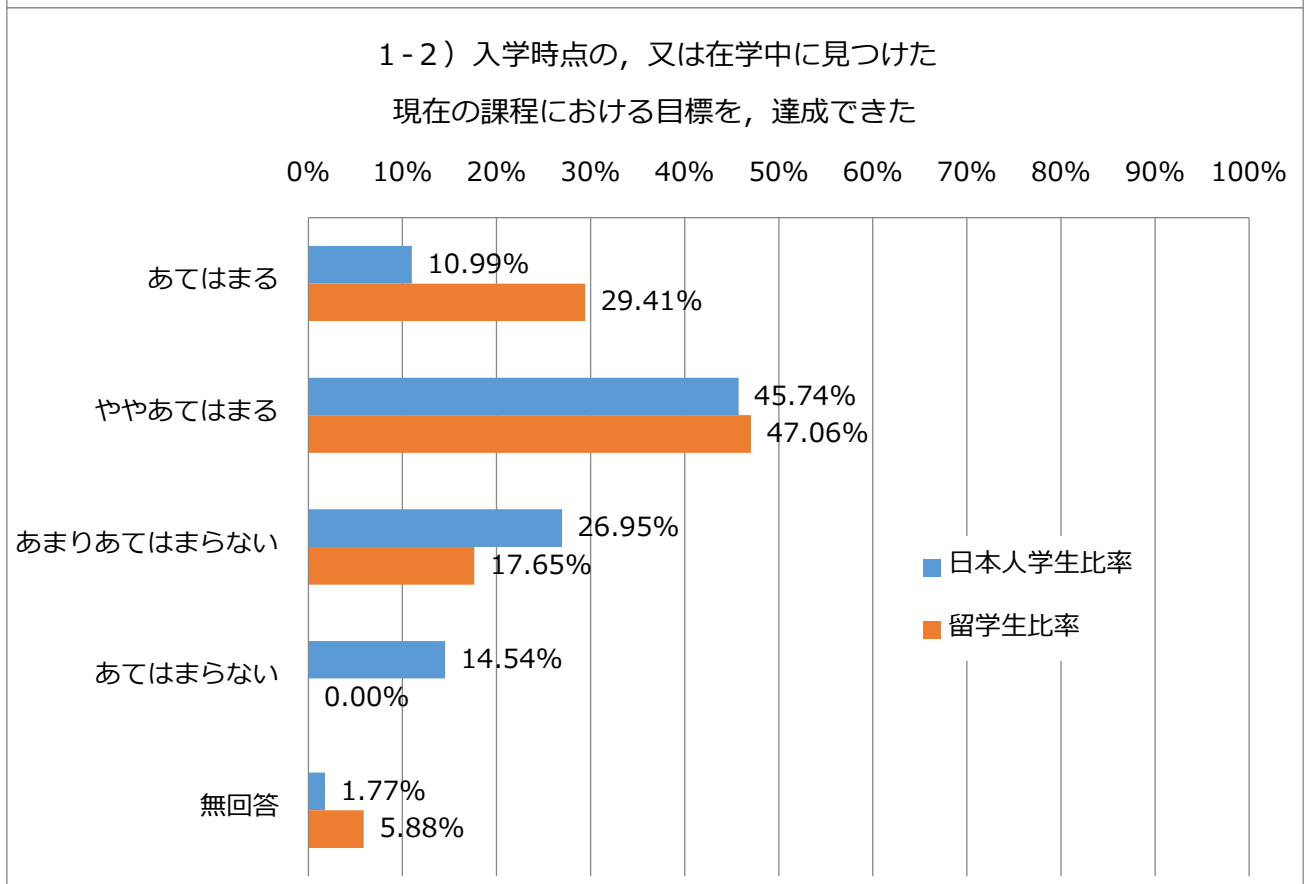
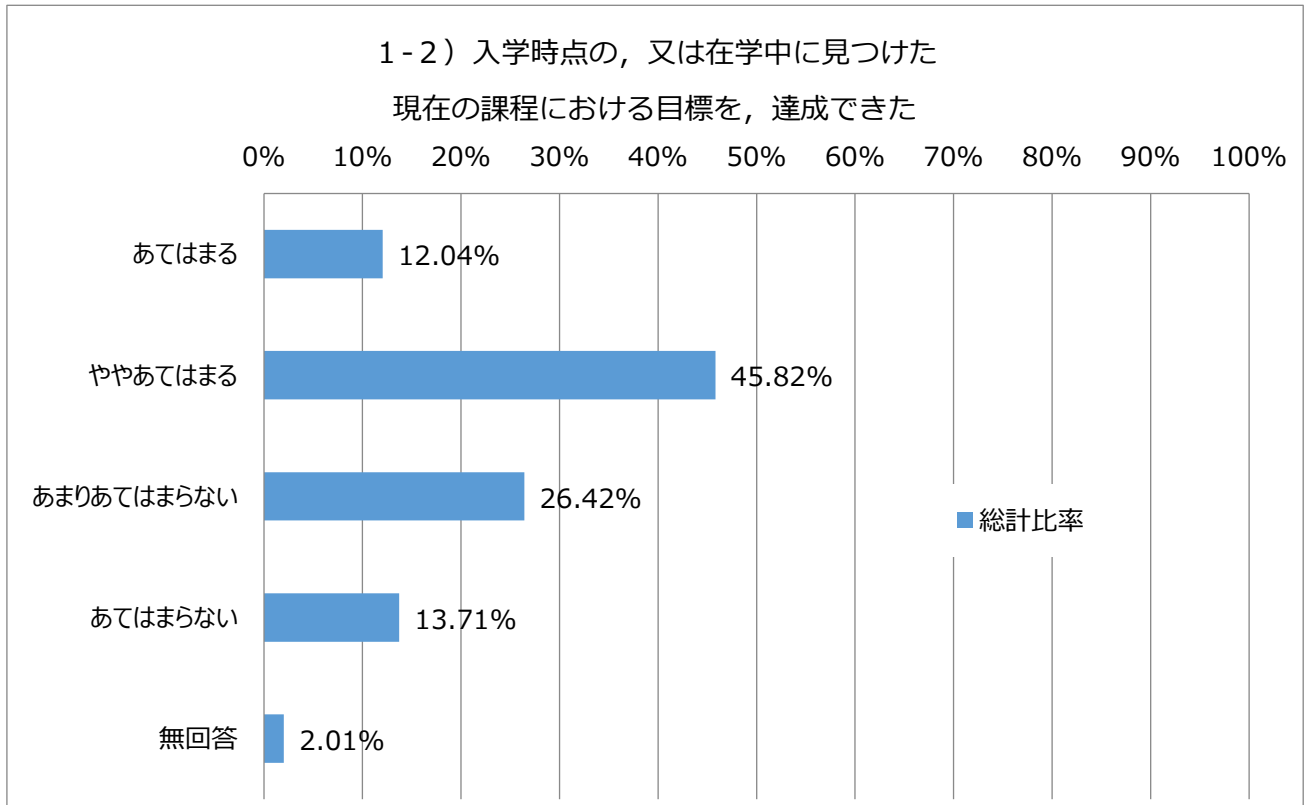
問 1. 課程における目標について

1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問1. 課程における目標について

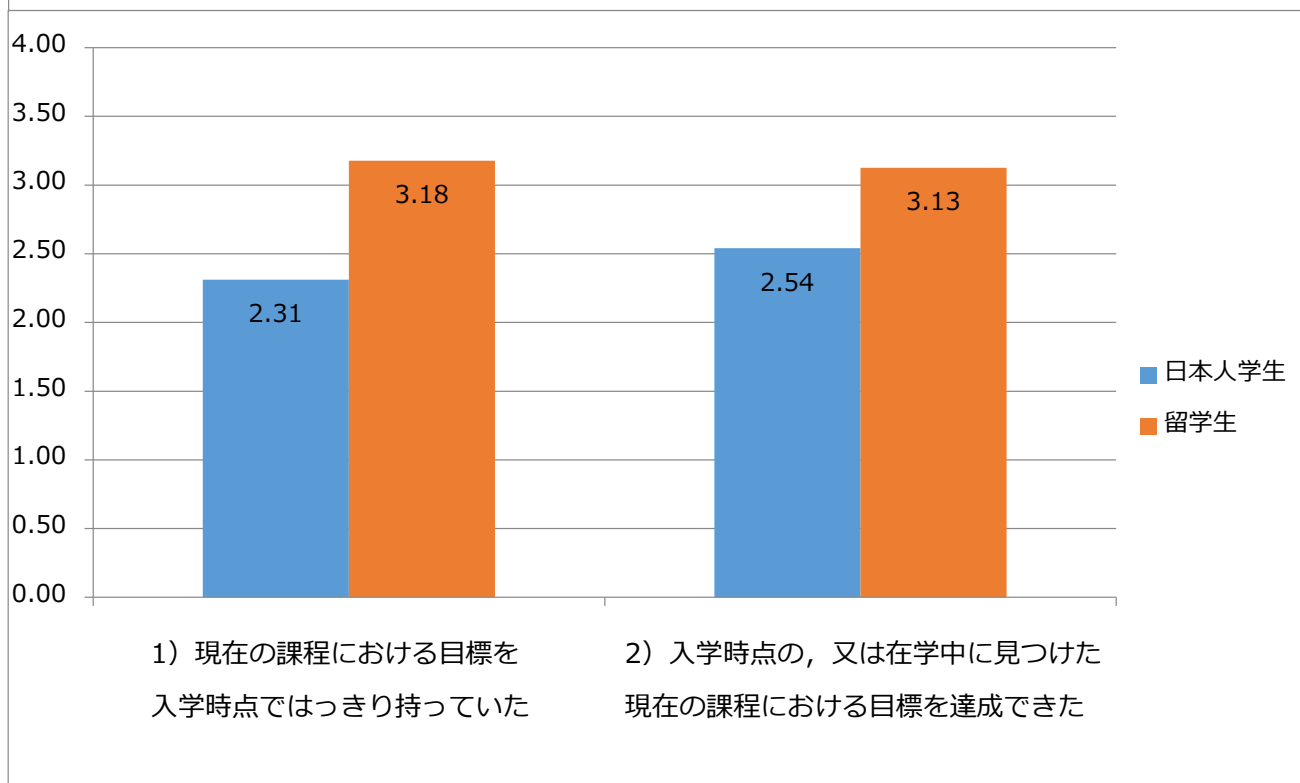
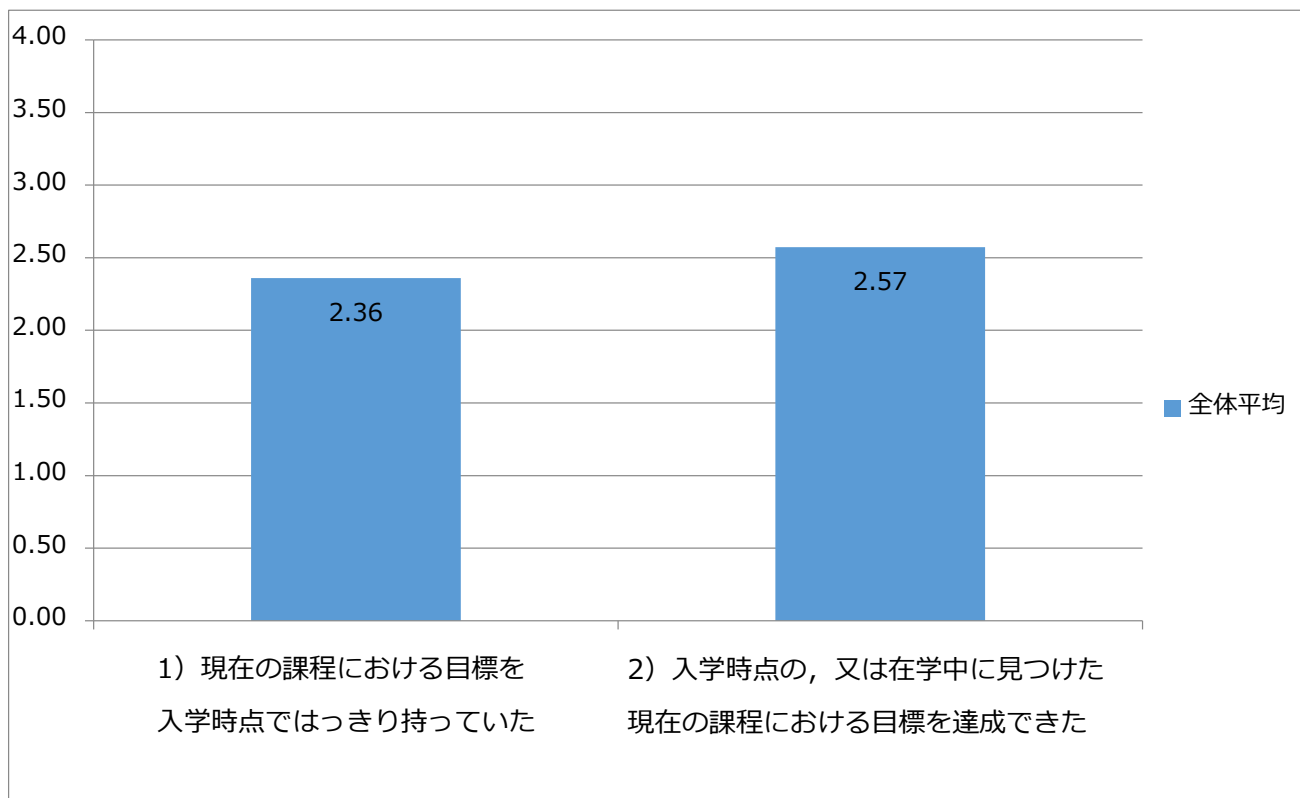
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた



問1. 課程における目標について

設 問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	2.36	2.31	3.18
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	2.57	2.54	3.13

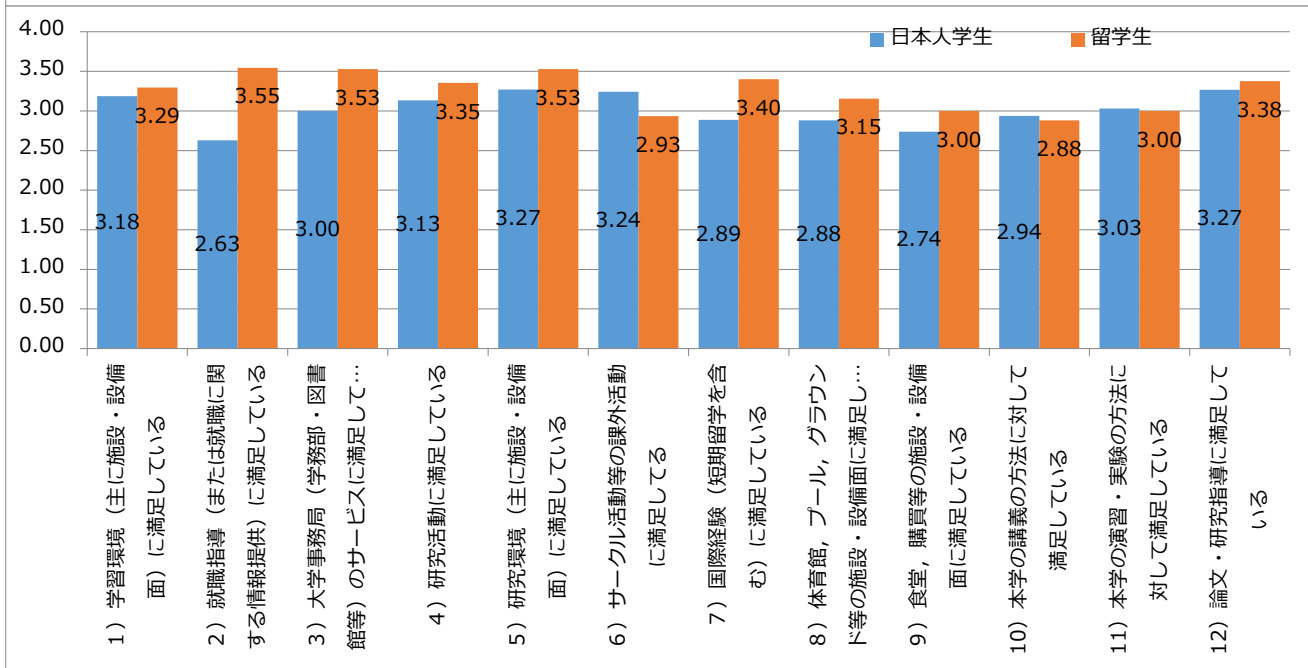
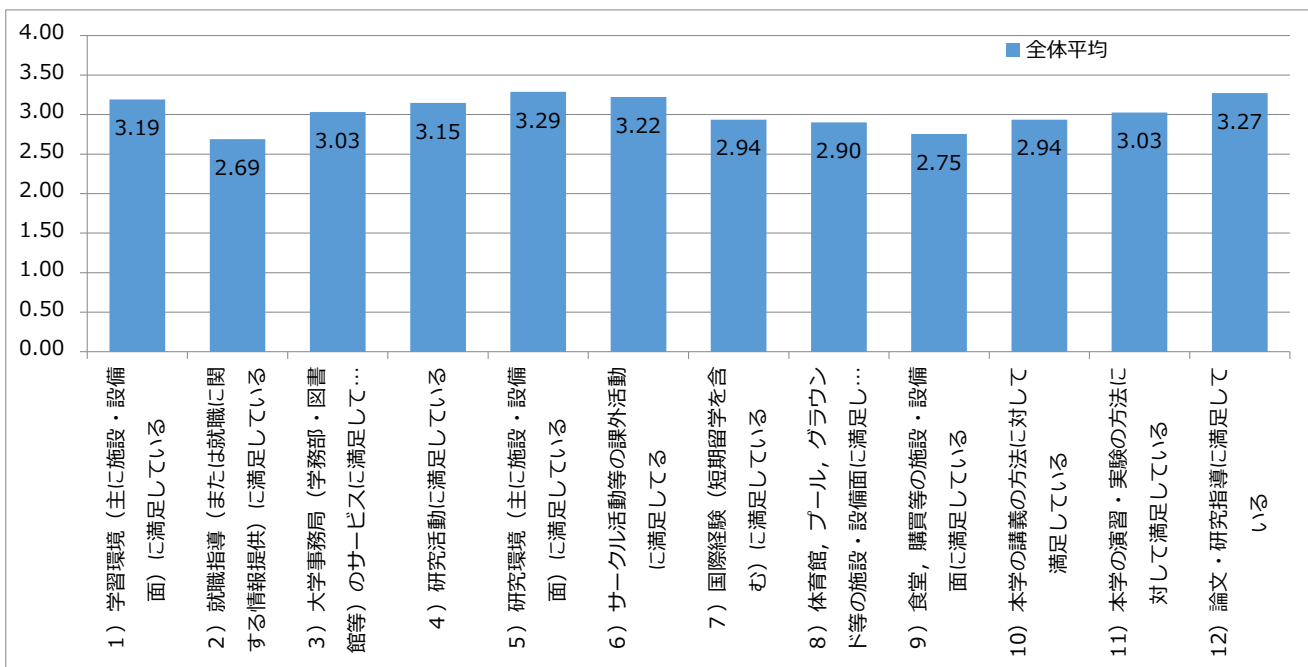
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	3.19	3.18	3.29
2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	2.69	2.63	3.55
3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	3.03	3.00	3.53
4) 研究活動に満足している	3.15	3.13	3.35
5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	3.29	3.27	3.53
6) サークル活動等の課外活動に満足している	3.22	3.24	2.93
7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	2.94	2.89	3.40
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	2.90	2.88	3.15
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	2.75	2.74	3.00
10) 本学の講義の方法に対して満足している	2.94	2.94	2.88
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.03	3.03	3.00
12) 論文・研究指導に満足している	3.27	3.27	3.38

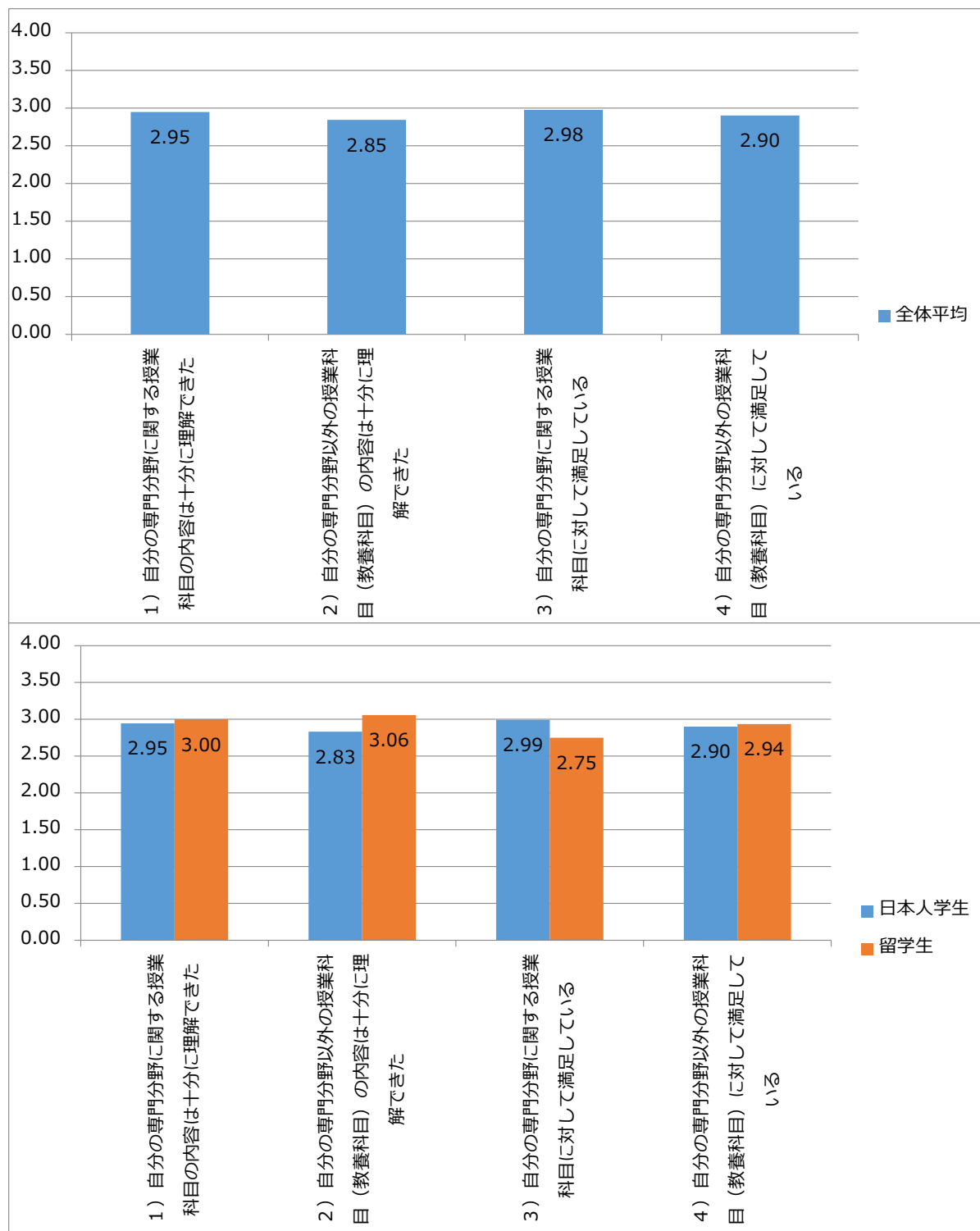
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	2.95	2.95	3.00
2) 自分の専門分野以外の授業科目（教養科目）の内容は十分に理解できた	2.85	2.83	3.06
3) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	2.98	2.99	2.75
4) 自分の専門分野以外の授業科目（教養科目）に対して満足している	2.90	2.90	2.94

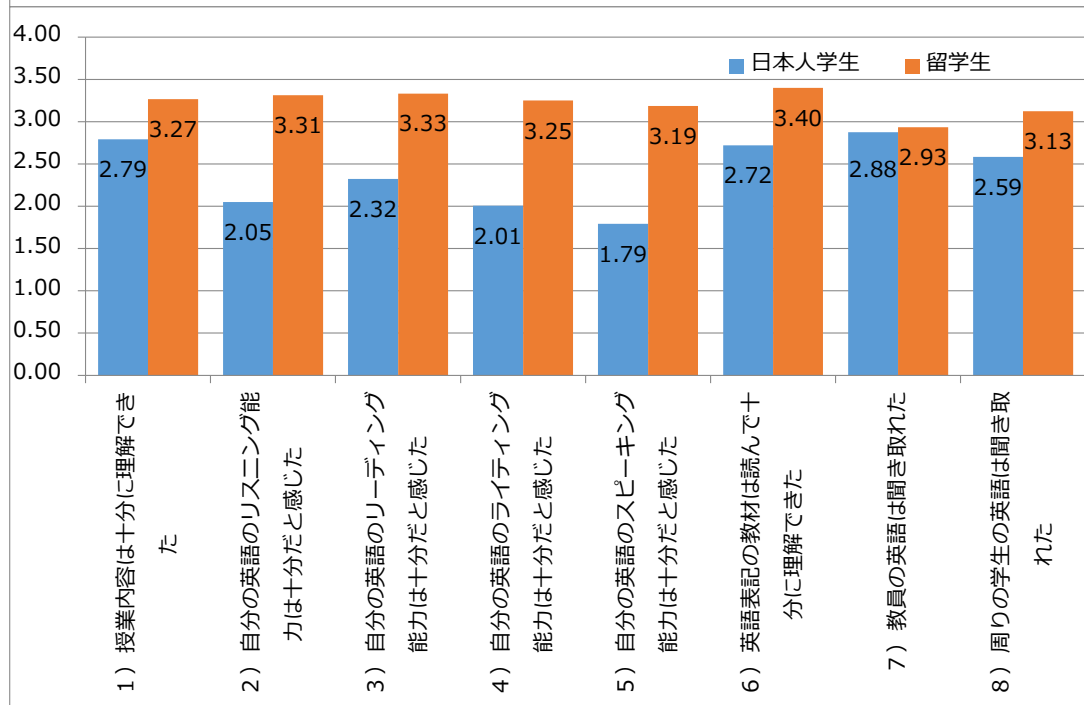
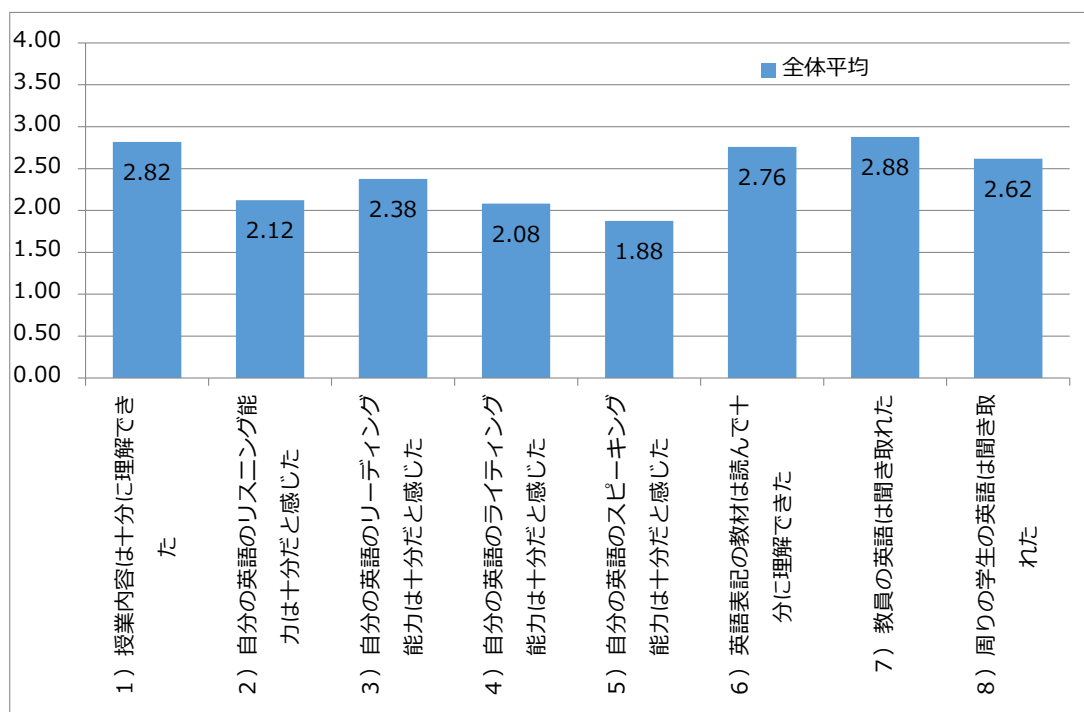
あてはまる（4点）、ややあてはまる（3点）、あまりあてはまらない（2点）、あてはまらない（1点）



問4. 英語による授業科目について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 授業内容は十分に理解できた	2.82	2.79	3.27
2) 自分の英語のリスニング能力は十分だと感じた	2.12	2.05	3.31
3) 自分の英語のリーディング能力は十分だと感じた	2.38	2.32	3.33
4) 自分の英語のライティング能力は十分だと感じた	2.08	2.01	3.25
5) 自分の英語のスピーキング能力は十分だと感じた	1.88	1.79	3.19
6) 英語表記の教材は読んで十分に理解できた	2.76	2.72	3.40
7) 教員の英語は聞き取れた	2.88	2.88	2.93
8) 周りの学生の英語は聞き取れた	2.62	2.59	3.13

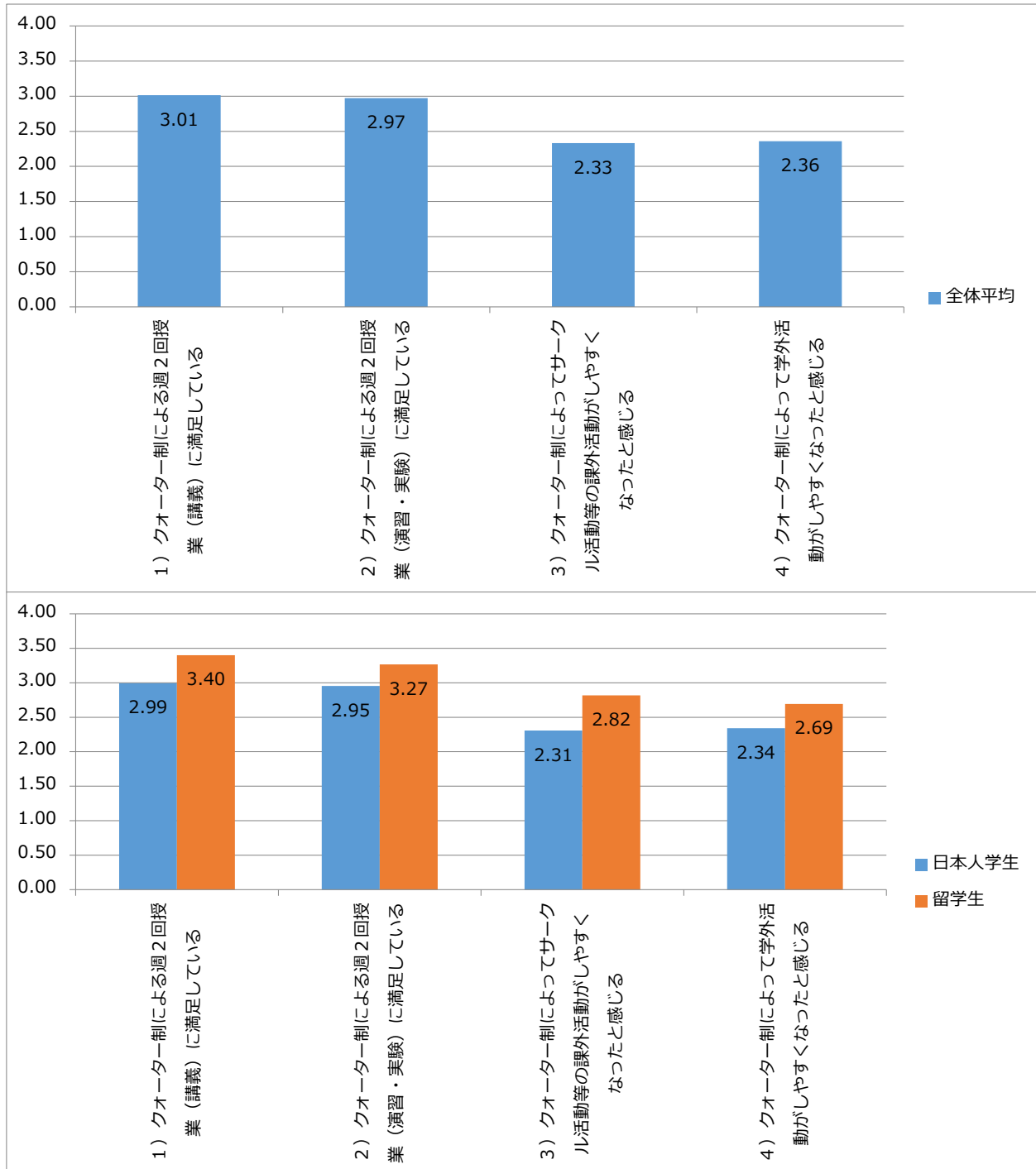
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



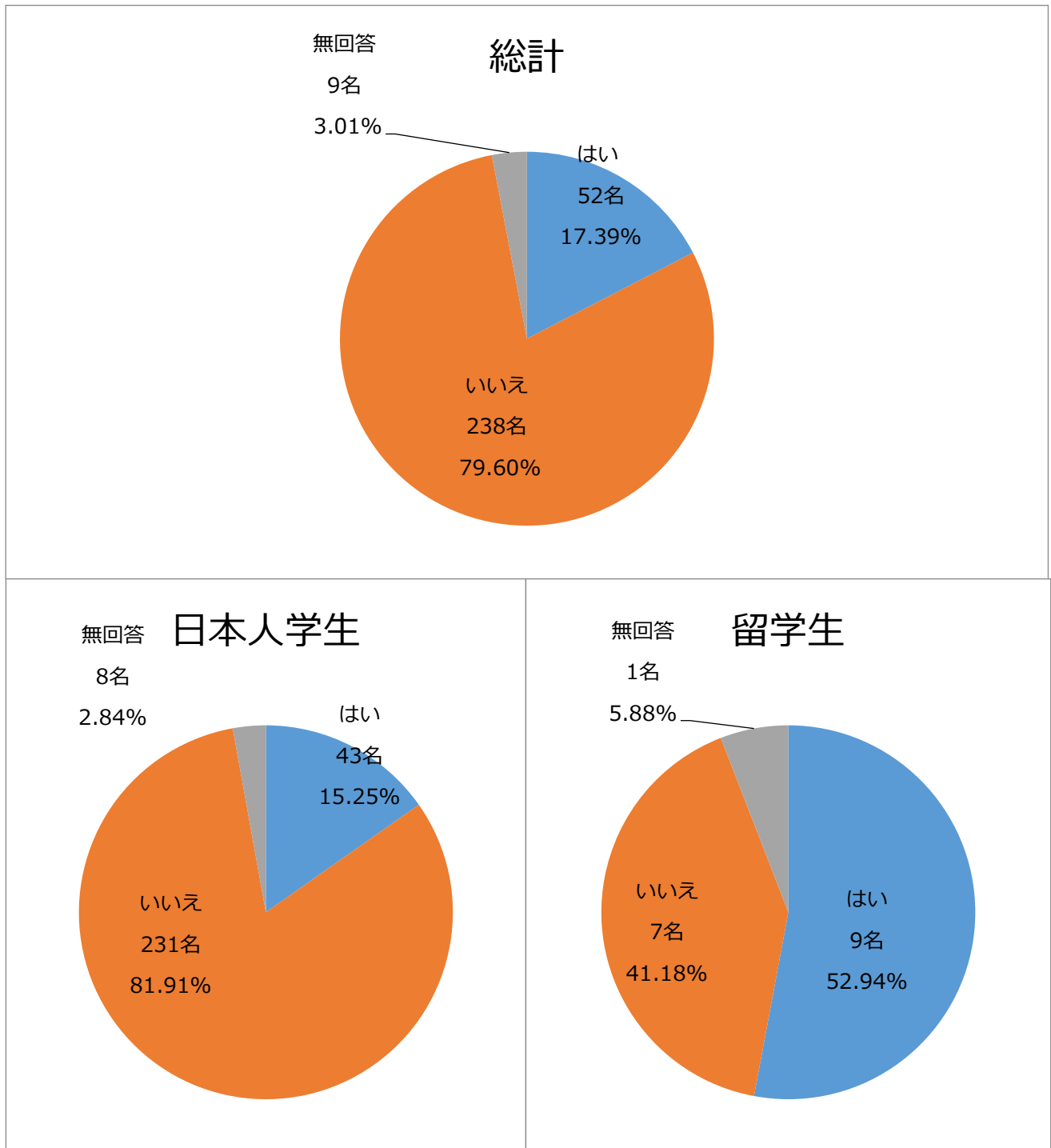
問5. クォーター制及び学外活動に関して

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	3.01	2.99	3.40
2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している	2.97	2.95	3.27
3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	2.33	2.31	2.82
4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	2.36	2.34	2.69

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

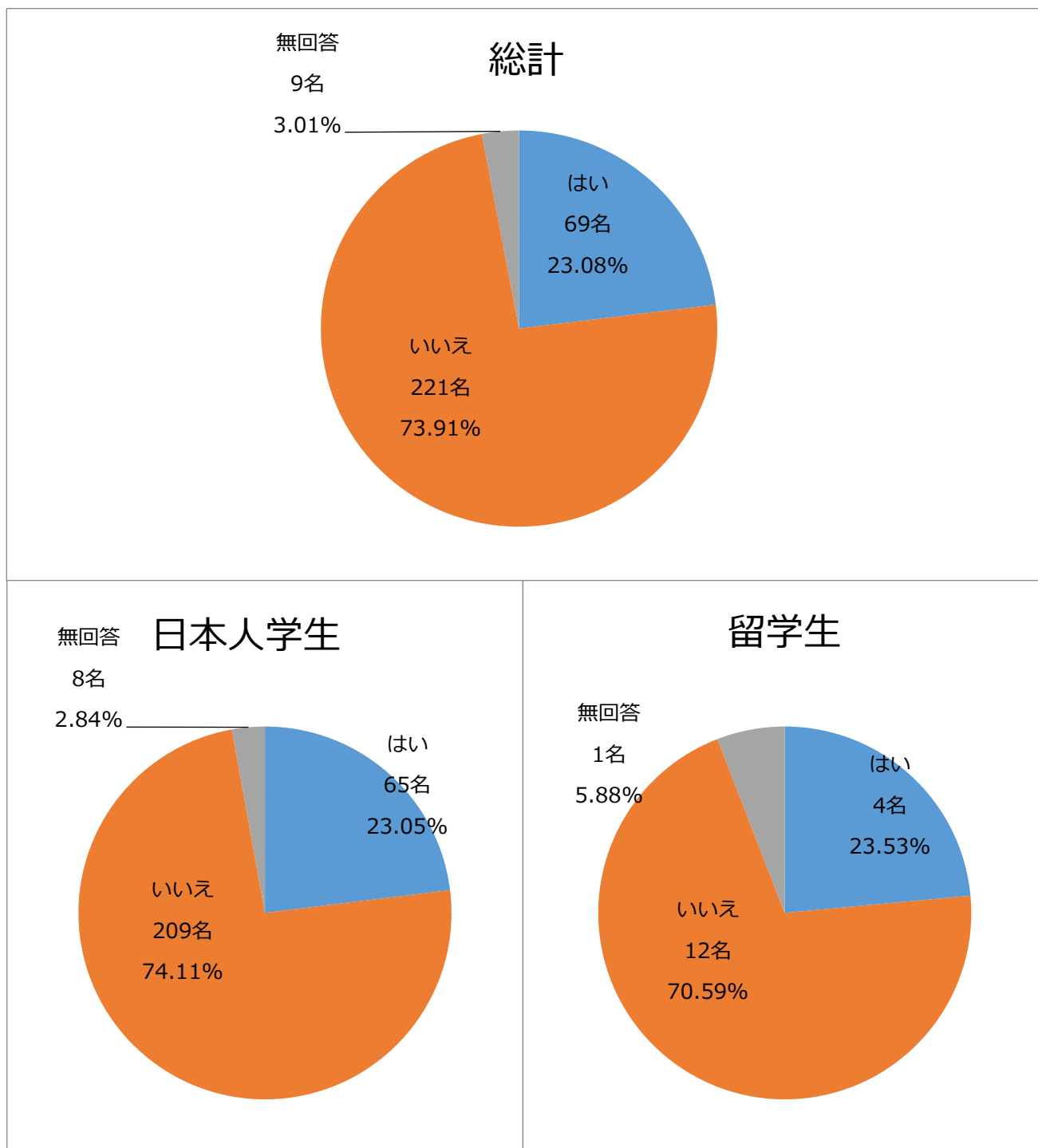


問5. クォーター制及び学外活動に関して
5) 留学などの国際経験をしたことがある

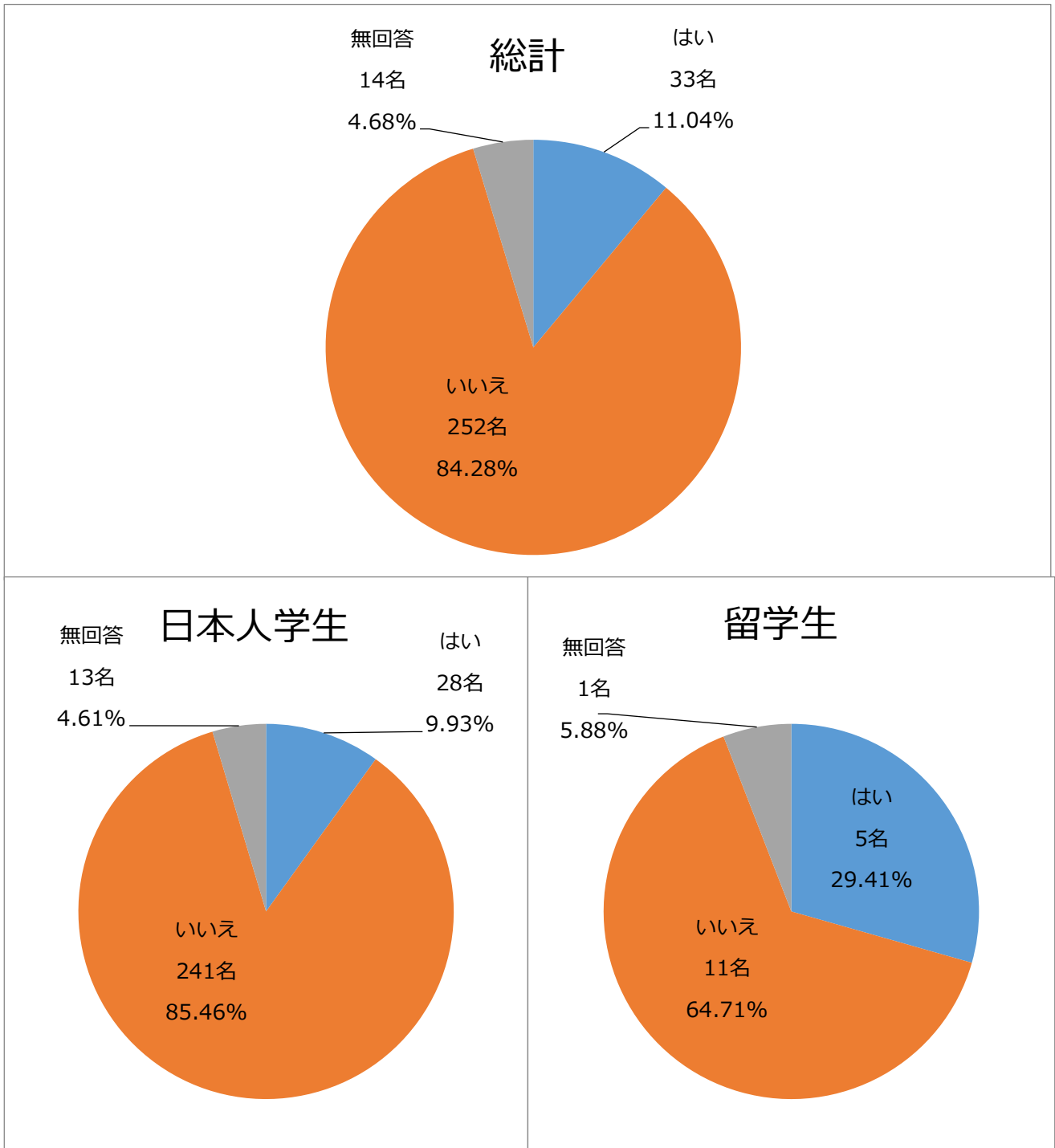


問5. クォーター制及び学外活動に関して

6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



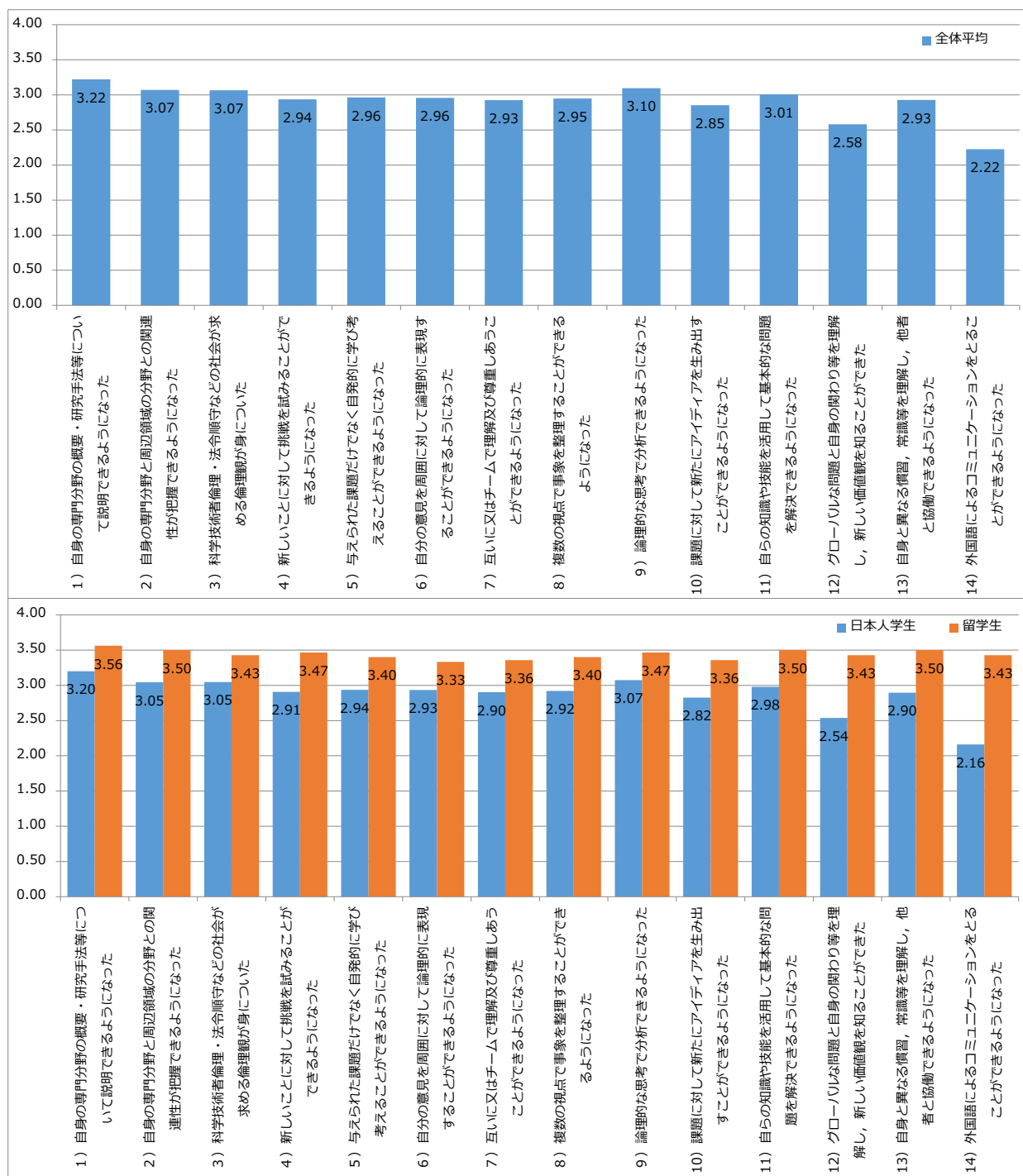
問5. クォーター制及び学外活動に関して
7) ボランティア活動をしたことがある



問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.22	3.20	3.56
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.07	3.05	3.50
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.07	3.05	3.43
4) 新しいことに対して挑戦を試みることができるようになった	2.94	2.91	3.47
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	2.96	2.94	3.40
6) 自分の意見を周囲に対して論理的に表現することができるようになった	2.96	2.93	3.33
7) 互いに又はチームで理解及び尊重しあうことができるようになった	2.93	2.90	3.36
8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	2.95	2.92	3.40
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.10	3.07	3.47
10) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	2.85	2.82	3.36
11) 自らの知識や技能を活用して基本的な問題を解決できるようになった	3.01	2.98	3.50
12) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	2.58	2.54	3.43
13) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	2.93	2.90	3.50
14) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	2.22	2.16	3.43

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

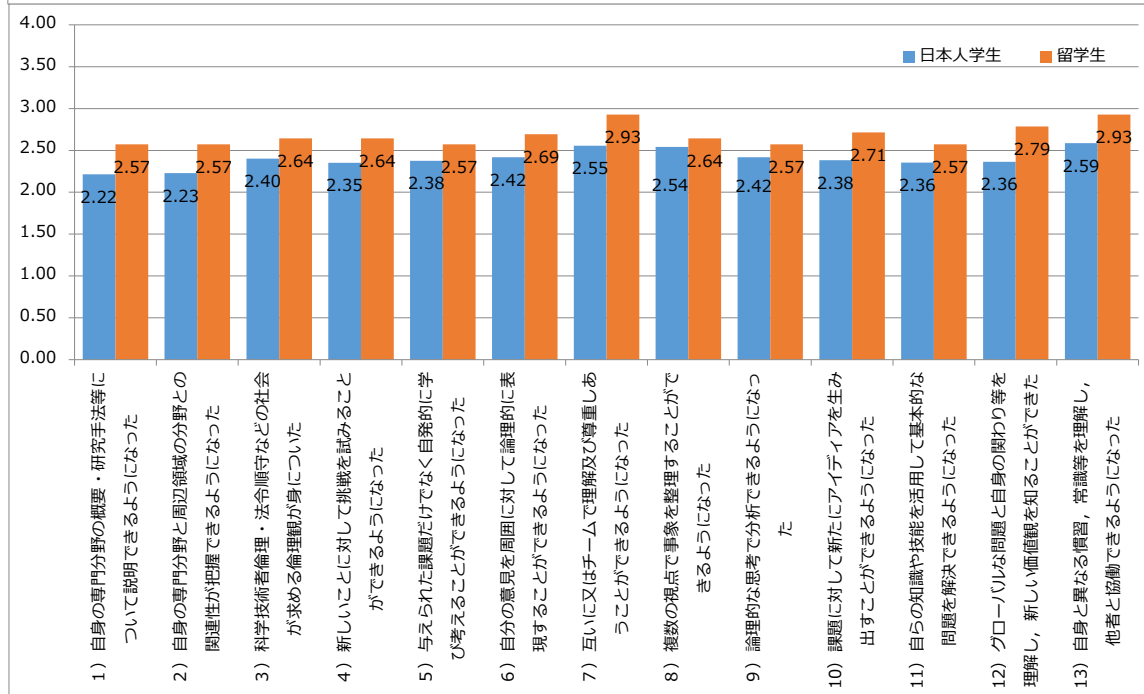
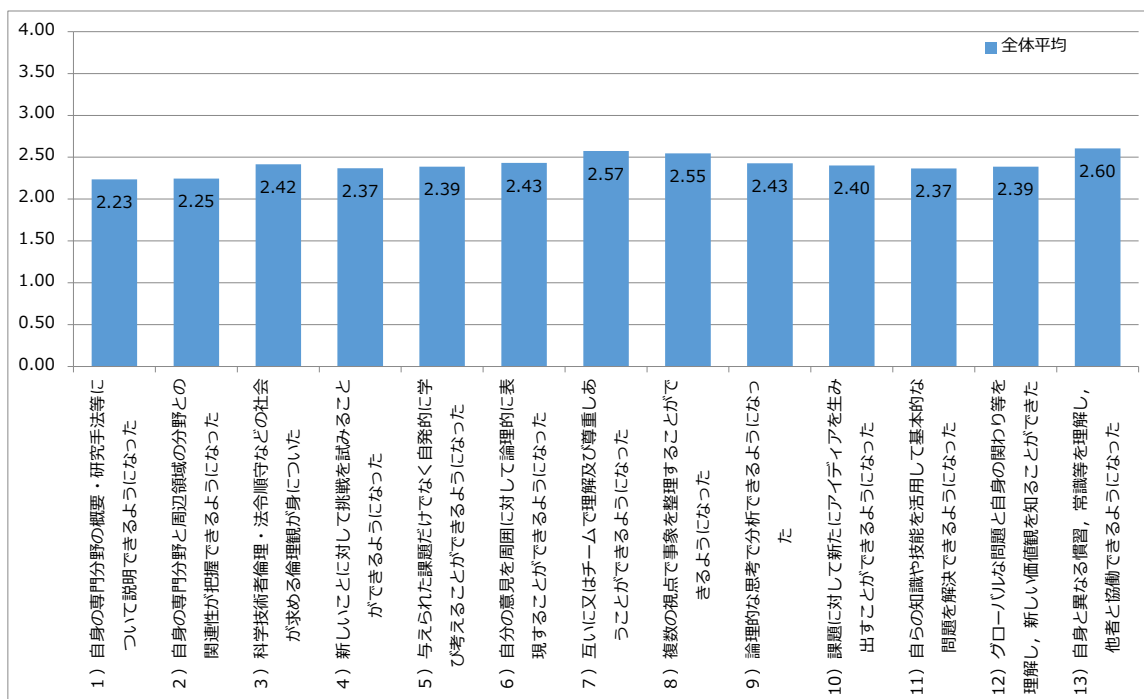


問7. 「東工大立志プロジェクト」や「教養卒論」を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【東工大立志プロジェクトに関して】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	2.23	2.22	2.57
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	2.25	2.23	2.57
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	2.42	2.40	2.64
4) 新しいことに対して挑戦を試みることができるようになった	2.37	2.35	2.64
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	2.39	2.38	2.57
6) 自分の意見を周囲に対して論理的に表現することができるようになった	2.43	2.42	2.69
7) 互いに又はチームで理解及び尊重しあうことができるようになった	2.57	2.55	2.93
8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	2.55	2.54	2.64
9) 論理的な思考で分析できるようになった	2.43	2.42	2.57
10) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	2.40	2.38	2.71
11) 自らの知識や技能を活用して基本的な問題を解決できるようになった	2.37	2.36	2.57
12) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	2.39	2.36	2.79
13) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	2.60	2.59	2.93

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問7. 「東工大立志プロジェクト」や「教養卒論」を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【教養卒論について】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	2.26	2.23	2.86
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	2.27	2.24	2.93
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	2.44	2.42	2.86
4) 新しいことに対して挑戦を試みることができるようになった	2.37	2.34	2.87
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	2.44	2.43	2.64
6) 自分の意見を周囲に対して論理的に表現することができるようになった	2.53	2.51	2.87
7) 互いに又はチームで理解及び尊重しあうことができるようになった	2.44	2.41	2.93
8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	2.54	2.52	2.80
9) 論理的な思考で分析できるようになった	2.54	2.53	2.80
10) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	2.38	2.37	2.60
11) 自らの知識や技能を活用して基本的な問題を解決できるようになった	2.38	2.36	2.60
12) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	2.23	2.20	2.67
13) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	2.44	2.41	2.93

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

